



益田市

概要

益田市は平成16年11月に1市2町による合併を行い、現在は人口約52,000人で面積は島根県総面積の約1割を占め、その大半が林野に覆われている。通勤・通学・通院・買い物など生活に密着した交通体系の整備は、地域活性化に欠かすことのできない重要な要素となっている。しかしながら、近年マイカーの普及や過疎化、少子化の進行などにより年々利用者が減少し、事業者の欠損額を補填している市においても、今の状態が続くと財政面からも非常に厳しくなるため、効率的な路線の再編や地域の実情にあった運行形態に転換するなど、利用者のニーズを反映した公共交通体系の構築を目指し、調査・検討を実施する。

○地域公共交通の概要

- ・JR(山陰本線、山口線)
- ・4条路線:石見交通(株)55系統、防長交通(株)1系統、広島電鉄(株)1系統(防長交通・広島電鉄はいずれも石見交通と共同運行)
- ・市町村運営有償運送(生活バス4路線、過疎バス5路線、福祉バス3路線)
- ・乗合タクシー9路線(益田地域7路線、美都地域2路線)
- ・スクールバス(小中学校)、外出支援サービス(美都地域)

○地域公共交通の課題

- ・路線バスの利用促進と効率的で持続的な運行形態への転換
- ・中山間地域の実情にあった交通体系の確立
- ・スクールバスや福祉輸送との調整

○調査事業の主な内容

- ・現況の交通実態及び利用実態調査
- ・利用者ニーズの把握(アンケート調査・ヒアリング調査)
- ・連携計画の検討・作成

○策定する地域公共交通総合連携計画の構想(予定)

- ・わかりやすく、利用しやすい路線体系に向けた路線の再編
- ・市街地における循環路線の実証運行
- ・中山間地における運行の効率化(デマンド交通など)
- ・交通結節点の充実化

